

●行動特性

●得意なこと・興味・関心のあること、物：
●苦手なこと、物：
●こだわりのある物、行動：
●常同行動（いつも決まってる行動、繰り返す行動）：
●不安・恐れるもの：
●予想外の事への反応、急な変化への反応：
●多動・不注意・衝動性《忘れ物・整理整頓などを含む》（有・無・わからない）
●寡動《行動にとりかかれぬ。その場から動かない》（有・無・わからない）
●臆断《人や場面によっては全くしゃべらない》（有・無・わからない）
●自傷（有・無・わからない）
●他害（有・無・わからない）
●パニック（有・無・わからない）
●気になる行動（有・無・わからない）
●その他（特徴、支援のてがかり）

（ ）さんのファイル 記入者氏名（ ） 続柄（ ） 記入年月日（ 年 月 日）

●行動特性

行動はできるだけ具体的に表記しましょう。いつ、どこで、どのような状態になるのか、その行動の強さ、理由が判る場合は理由も併せて記入しましょう。

●こだわりのある物、行動

同一性の保持といわれる特性です。同じ場所、時間、順序等で物事を行うなどにこだわる場合があります。特定の物や人にこだわったり、物の置き場所、並べることこだわる場合もあります。同じであることや、秩序だっている方が安心できると言われています。

●「常同行動」について

代表的な常同行動には、手をひらひらと振る、手を叩く、体を前後に動かす、同じ言葉を繰り返す、同じ場所を行ったり来たりする、クルクルとその場で回る、跳びはねる」など様々です。こだわりは、本人や周囲にとって支障のないものであれば、見守っていたほうが良い場合が多いです。

●予想外の事への反応、急な変化への反応

予定や日課、手順や道順、教室などの場所や、担任など人の変更などが行われた時に、パニックになったり、不安な様子で、動きが止まってしまう場合などがあります。

●多動、不注意、衝動性（同年齢の子どもに比べて、過剰に以下のような行動が見られるかを確認します）

多動:手を離すとどこかへ行ってしまう、いつも体の一部が動いている、いつもお喋りをしているなどです。
大きくなってからも、じっとしていることが苦手で、落ち着きがない、身体が疲れているのに気づきにくいことなどがあります。

不注意:忘れ物が多い、予定や約束を忘れる、物をよくなくす、他のことに気を取られ話を聞いていない、身体をよく物にぶつけるなどが含まれます。*大人の場合は、多動性は弱まり、不注意が目立つようになることが多いです。*

衝動性:相手が話し終わらないうちに発言してしまう、確認せずに道路を渡ったり、危険な行動をしてしまう、待つことや我慢が出来ずに行動を起こしてしまうことなどがあります。

その場の感情や思いつきで行動してしまい、あれこれ手を付けて作業が最後まで進まない、よく考えずに、高額な買い物をしてしまう、転居や、結婚などの大切なことを、即決してしまうことなどがあります。

整理整頓や手順が身につかない等の特性があれば、併せて記載します。

●「寡動」～「気になる行動」

どのような行動が起こるのか、どのような時に、どれくらいの強さや頻度で生起するのか、原因や対応方法がわかる場合は併せて記載します。

●「気になる行動」の例

- ・特定の人に対する過度の依存がある
- ・学校や所属機関に行くのを拒否する
- ・過度に不安または神経質である
- ・理由がないのに悲しがる ・全体に活気や興味が乏しい
- ・かんしゃくを起こす ・いつも不機嫌である
- ・周囲の人を侮辱したり、からかったり、いじめたりする
- ・嘘をつく ・人の物や店の物を、許可なく使用したり、盗む
- ・他の人の働きかけに対して、故意に逆らったり、無視したりする
- ・知らない人に対して、過度に親しげに振る舞う
- ・性的な逸脱行動がある（露出、公的な場での自慰行為、不適切な性的交渉など）
- ・妄想や幻覚などがある ・周囲からの働きかけや、置かれた状況を、被害的に捉えがちである
- ・指しゃぶりや爪噛みをする ・チックがある ・奇妙な癖ややり方、話し方がある

●感覚

◇感覚の問題や配慮すべき点（各項目に○をつける）
●視覚（ ある ・ 特になし ・ わからない ）
《例：光や太陽に反応する、換気扇など回転するものを見る、鏡を見入る、など》
●聴覚（ ある ・ 特になし ・ わからない ）
《例：大声や泣き声を嫌う（怖がる）、嫌いな音に対して耳をふさぐ、雨の音など小さな音を騒音に感じる、など》
●触覚（ ある ・ 特になし ・ わからない ）
《例：人に触られることを嫌う、水圧を楽しむ、爪切りをすると痛がる、など》
●味覚（ ある ・ 特になし ・ わからない ）
《例：何でも口に入れたがる、異食、偏食、など》
●臭覚（ ある ・ 特になし ・ わからない ）
《例：物の臭いを嗅ぐ》
●温度覚（ ある ・ 特になし ・ わからない ）
《例：暑さや寒さに敏感・鈍感》
●痛覚（ ある ・ 特になし ・ わからない ）
《例：痛み敏感・鈍感》
●その他
《例：ぐるぐる回ることが好き、ギュウッと圧迫される感覚を好む、狭い場所が落ち着く、特定の音が苦手、など》

（ ）さんのファイル 記入者氏名（ ） 続柄（ ） 記入年月日（ 年 月 日）

●感覚 感覚の過敏や鈍麻がないかを評価します。感覚面では、様々な感覚において、過敏タイプ、鈍感タイプ、感覚刺激を強く求めるタイプ、感覚刺激を回避しようとするタイプがあります。どのタイプかも併せて評価します。

●視覚

・視線を避ける、物や人を凝視する、暗いところを好む、明るい光を避ける（目を細めたり閉じたりする）、物がたくさんあると中から探すときにイライラすることなどもあります。
 ・階段の上り下りをする際にためらう、色を塗ったり字を書く際に枠からはみ出る、書いた字が読みにくい場合等も、視覚情報の処理に困難がある可能性があるため、注意深く観察する必要があります。

●聴覚

・突然の音や大きな音に拒絶反応を示す、普通は気が付かないような音（電化製品の音など）をうるさいと感じる、音がしていると気が散って集中できない、あるいは大きな音や聞きなれない音がしても反応がない、聴覚に問題はないのに、名前を呼ばれても反応しない、聞いていないように見えることなどもあります。

●触覚

・べたべたした感触や汚れることを極端に嫌う、特定の生地や衣類のタグを嫌がったり、靴下を嫌がる、身体にぴったり密着するような服を嫌う場合などがあります。その他、気候に関係なく薄着あるいは厚着する、身体に触られているのに気が付かない、汚れたり、濡れていても気にならない、服が裏返しやねじれていても気が付かない場合などがあります。

●味覚

・味に敏感で、特定の味を嫌う、特定の物しか食べたがらない（偏食）ことがあります。
 ・食べ物ではないものをなめたり、噛んだり、飲み込んだりする（異食）ことがあります。

●嗅覚

・強いにおいがしているのに気づいていない様子がある、特定のにおいを非常に好む、微かなにおいでも気が付くなどがあります。

●温度覚

・暑さや寒さ、湿度や気圧等によって影響を受けやすい場合、気候や室温によって、イライラしたり、気分が落ち込んだりして、活動レベルが下がってしまうことがあります。

●痛覚

・ちょっとした傷や体の変化でも敏感に感じてしまう人や、反対に痛みや体の変化に対して鈍感な人もいます。痛み鈍感な場合は、周囲も気が付かないうちに重症化してしまうことがあります。

●その他

・遊具の強い揺れや回転を好む場合や、ちょっとした揺れも苦手な場合があります。揺れが苦手な人は車に乗ることが苦手なことなどがあります。
 ・身体の使い方では、つま先で（踵を浮かし）歩く、動きがかたい、筋力が弱いように見えるなどが見られます。

・自閉症スペクトラムの方の場合、過敏があることで、疲れやすかったり、体調を崩したりして、本来の能力が発揮できないことがあります。

・”苦手な感覚に慣れる”ことはなかなか難しく、無理すると、過敏が増す恐れもあるため、道具や環境の工夫により、苦手な刺激は、除去したり、低減できるような方法を用いる必要があります。

例) 偏食は、無理のない支援を行うことで、年齢とともに軽減されていくことも多いです。
 聴覚過敏には、耳栓やイヤーマフ、ノイズキャンセリングヘッドフォンの使用が有効です。

